

- 1 主題名 がんばるころ 低1-(2) 【自分がやらなければならない勉強や仕事はしっかりと行う】  
資料名 おんがくかい (日本文教出版)

## 2 主題について

### ○ このような価値の追求を

本主題は、「勤勉に、くじけず努力し、自分を向上させる児童を育てようとする」内容項目を受けたものである。

子どもが自立していくためには、自分がやらなければならないことはしっかりできることが大切である。そして、様々な苦しみや困難が待ち受けていても何事にも粘り強く取り組み、努力し続けることと向上心が結びついて、自己の在り方や生き方が自覚されてくる。

この段階においては、小学校生活にも慣れ、何事も素直に受け入れていく時期だからこそ、自分で決めためあてに向かって努力を続けていくことで、めあてが達成できることに気付かせたい。そのために、自分がやらなければならないことを自覚し、困難があっても途中でくじけない強い意志をもち、勉強や仕事を一生懸命にしようとする心情を育てることが重要であると考え。

また、意欲をもってやろうと決めたことが、思うようにならなくて、途中であきらめそうになる気持ちを克服させるために親や教師が適切に励まし、賞賛しながら、勉強や仕事をしっかりと行うことができるように指導することが大切である。加えて、友達の励ましや言葉かけもやる気を引き出し支える力となるものと考え。

そこで、本主題では、困難なことに直面し、くじけそうになったとき、その思いに負けずにやり遂げたことが大きな喜びとなることを感じ取らせ、自分がやらなければならない勉強や仕事を最後まであきらめずに粘り強く行おうとする心情を育てたい。

### ○ このような子ども達だから

本学級の子ども達は、毎日元気に登校し、勉強や仕事を最後までやろうとする姿が見られるようになってきている。国語の学習では、音読の発表会の練習をグループの友達と行い、自分が読むところを大きな声で読めるように休み時間も練習する姿が見られた。体育の水泳学習では、だるま浮きができなかった児童が、家のお風呂でも練習し学校の水泳学習で練習しているときにだるま浮きができ、友達から賞賛の言葉をもらい、うれしそうな姿も見られた。しかし、困難な場面になってしまうと、粘り強くがんばることなくあきらめてしまう子どもの姿も見られる。

このことから、日常生活の中で、やる気をもって取り組み、最後まであきらめずにやり遂げたことで得られる喜びや達成感を味わう経験をもたせていくことが大切である。

そこで、自分のことは自分でできるようになり、自分のめあてに向かってさまざまなことができるようになるこの時期に本主題を取り上げ、めあてに向かって粘り強くがんばり、やり遂げたあとの喜びや達成感を味わうことの大切さを考えることは意義深いことである。

### ○ 資料をこのように活用して

本時の中心資料「おんがくかい」は、音楽会のために鍵盤ハーモニカの練習を始めたぼんたが、なかなかうまくならなくてくじけそうになるが、友達のりすに励まされ、粘り強く練習を続けることでうまくなっていくという内容である。

指導にあたっては、くじけそうになりながらも練習を続け、できるようになって達成感を味わっているぼんたの気持ちを中心に道徳的価値の追究を図りたい。

そのために、まず、鍵盤ハーモニカを運んだときの気持ちを考えさせ、好きな楽器を選び、がんばろうとしているぼんたの気持ちを考えさせる。次に、りすに励まされたとき、くじけそうになっている気持ちを乗り越えがんばろうという気持ちになったぼんたの気持ちを共感的にとらえさせたい。最後に役割演技を通して、くじけそうな気持ちを克服して、達成できたうれしい気持ちに共感させ、ねらいとする道徳的価値の把握を図りたい。

そして、自分の生活の中で、あきらめずにがんばったことを振り返り、道徳的価値の内面的自覚を図りたい。

### 3 本時のねらい

自分がやらなければならないことには、途中でくじけそうになりながらも練習を続けて、できるまで粘り強くがんばろうとする心情を育てる。

### 4 本時指導について

学校の諸活動との関連【事前】	ねらい	できるまで粘り強く続けたときのうれしさや達成感に気付かせる。
	手だて	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校の諸活動において、ねらいとする姿を見つけて、児童一人一人のがんばる様子を賞賛したり、全体に広めたりする。</li> <li>○ 「すてきな心を見つけよう」において、自分が決めたためあてが達成できたときの気持ちを記述させる。</li> </ul>

発達段階に応じた語り合い【心がわかる】	ねらい	ぼんたがくじけそうな気持ちを克服しできるようになるまでがんばったときの喜びや達成感に共感させる。
	内容	できるようになったときのぼんたの気持ちについて
	手だて	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 道徳ノートを活用               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ぼんたがみんなからほめられたときの気持ちをぼんたの気持ちになって道徳ノートに記述させ、それをもとに役割演技を行わせる。</li> </ul> </li> <li>○ 役割演技               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教師がくま役を演じてぼんた役の子どもに話しかけることで、りすさんが励ましてくれたから、あきらめないで少しずつ繰り返し練習してうまくなったことやがんばったことで達成できたうれしい気持ちを引き出すようにする。</li> </ul> </li> </ul>

いきいきとした振り返り【心がはたらく】	ねらい	自分の生活の中で、くじけそうな気持ちを克服してできるようになったときのことを振り返る。
	関連する諸活動とその内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 算数「たし算」 → 繰り返り上がったたし算の練習を繰り返したらできるようになった。</li> <li>○ 体育「水あそび」「てつぼうあそび」 → 友達と一緒に練習を続けたら、逆上がりができるようになった。</li> <li>○ 「けん玉チャレンジ大作戦」 → お母さんが上手になったことをほめてくれたので、もっと上手になろうと思ってがんばった。けん玉の連続技が20回できたので、とてもうれしかった。</li> </ul>
	手だて	いくつかの活動の絵を提示したあと、道徳ノートに記述させる。

### 5 準備

資料「おんがくかい」（日本文教出版）の紙芝居 道徳ノート 挿し絵 紙芝居時の効果音楽  
お面 紙の鍵盤ハーモニカ フラッシュカード 絵 スライドショーのDVD

6 展 開

段階	主な学習活動と内容	教師の支 や手だて	期待する子どもの 応・発言
心 が う く	<p>1 登場人 の様子を いた挿し絵をもとに、本時学習のめあてについて話し合う。</p>	<p>○ 登場人 を して の音楽会の様子に目を向けさせ、本時のめあてをつかませる。</p>	<p>○ 登場人 の表情に目を向けながら、「がんばる心」について考えている。</p>
<p>めあて <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">がんばるころについてかんがえよう。</span></p>			
心 が わ か る  心 が は た ら く	<p>2 資料「おんがくかい」を通して、ぼんたのがんばる気持ちについて話し合う。</p> <p>(1) 紙芝居を見る。</p> <p>(2) ぼんたが鍵盤ハーモニカを選んだ気持ちについて話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>鍵盤ハーモニカを選んだとき、ぼんたはどんな気持ちになったでし う。</p> </div> <p>(3) もう少しがんばってみようと思ったぼんたの気持ちについて話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>もう少しがんばろうと思ったぼんたは、どんな気持ちになったでし う。</p> </div> <p>(4) みんなにほめられたぼんたの気持ちについて考え語り合いをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>みんなにほめられたときぼんたは、どんな気持ちになったでし う。</p> </div> <p>道徳ノートを く。 役割演技をする。 自分の生活の中で、最後までがんばることができたことを振り返る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>までの生活の中で、あきらめずにがんばったことを振り返りまし う。</p> </div> <p>教師の話を き、 後の活動 の意欲をもつ。 ○ 子ども達がんばっている活動場面の様子</p>	<p>○ 音楽を入れて紙芝居を行い、話の に う。</p> <p>○ ぼんたの気持ちを し やすいように、お面をからせ、紙の鍵盤ハーモニカを持たせる。</p> <p>○ 好きな楽器を選び、ぼんたが意欲をもって練習を始めたことをとらえさせる。</p> <p>○ ぼんたのまちがえてばかりでいやになっていく気持ちやりすの言葉を いてがんばろうと思った気持ちを出させるために、ぼんたの表情や言葉に 目させる。</p> <p>○ 途中であきらめずに達成できたことをとらえさせるために、道徳ノートに かせる。</p> <p>○ ぼんたの達成した気持ちに共感できるように、教師がくま役を演じ、うまくできるようになってほめられている場面の役割演技をさせる。</p> <p>○ 自分の経験を し やすいように、いくつかの場面の絵を提示した後、道徳ノートに かせて、発表させる。</p> <p>○ がんばっている姿をスライドショーで見せることでやらなければならないことをがんばろうとする意欲をめさせる。</p>	<p>○ 主人 の気持ちを共感的にとらえながら、人 になりきって考えている。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>主人 になりきって</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・うれしいな。</li> <li>・鍵盤ハーモニカになってよかった。</li> <li>・がんばろう。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>主人 になりきって</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・そう にはいかないよ。</li> <li>・できるか心 だな。</li> <li>・これまでの練習が になる。</li> <li>・りすさんが応 してくれるからがんばろう。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>主人 になりきって</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなにほめられてうれしいな。</li> <li>・練習してよかった。</li> <li>・途中であきらめずにがんばって本 によかった。</li> <li>・りすさんのおかげだな。</li> <li>・もっとたくさん練習をしてもっとうまくなりたい。</li> </ul> </div> <p>・繰り返し上がりのたし算の練習を繰り返したらできるようになった。</p> <p>・友達と一緒に練習を続けたら、逆上がりができたので、うれしかった。</p> <p>○ 自分たちもがんばっていた様子を見て、これからもがんばってこうと思っている。</p>

7 資料分析

[ 場面 ]

[ 人物の気持ち ]

[ 主な発問 ]

